



愛南町役場 商工観光課

〒798-4196

愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地

TEL: 0895-72-7315 (直通)

FAX: 0895-72-3517



愛媛県 **愛南町営業戦略推進計画** ダイジェスト版



- ・ビジネス機会の提供と情報発信
- ・ふるさと納税の拡大
- ・観光振興の戦略的推進と体制づくり
- ・事業者の育成、販促支援と組織化

1 国の現状

近年、国内だけでなく世界的な感染拡大を続ける新型コロナウイルス感染症により、さらなる社会・経済活動の縮小が余儀なくされようとしています。また、急速な少子高齢化の進展による労働人口の縮小と生産年齢世代の首都圏から地方への人の動きも変化し、地方経済の低迷と人口減少は、多くの地方自治体の将来的な消滅までもが懸念されるほどの大きな課題として認識されるようになっています。

_{背景} 2 愛媛県の取組

国の現状を鑑みて、愛媛県では、平成24年(2012年)に営業本部を立ち上げ、愛媛県庁による営業活動を本格的に始動しました。基本方針にはトップセールスを営業活動の突破口として、新規販路の開拓、既存販路の継続取引の維持・拡大を掲げ、市場ニーズの把握や商品開発・改良、ブランドの確立と情報発信の強化、そして海外市場の開拓などの営業強化を図り、「実需の創出」による地域経済の活性化を目指しています。

_{背景} **5** 愛南町の現状

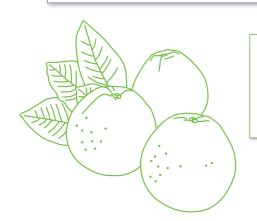
農林水産物の生産量の減少、魚 価の低迷、後継者不足、輸入品の 増大等による町の基幹産業である 農林水産業の衰退、地域産業及び 観光業といった経済活動の自粛な ど、町の活力減退が顕著に見られ ます。 背景 **本計画のねらい**

前述の背景を打開するために、本町の優れた農林水産物や加工品、観光商品等の販路拡大に取り組むと同時に、「売れる商品」づくりのサポート、ふるさと納税の拡大、町産品の情報発信などにより、県の動向を踏まえ「実需の創出」に努めます。





- ●大都市圏への商談会・フェア出展
- ●企業への営業
- ●商談、EC(電子商取引)、商品開発支援
- ●ロゴマーク・キャッチコピーを活用したプロモーション



- ●売れる商品開発
- ●販売戦略
- ●地域商社

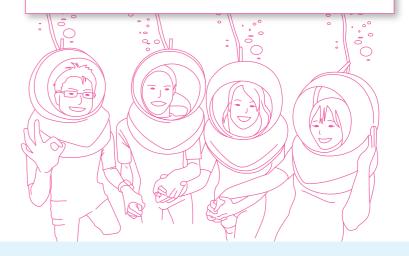
- 販路 拡大
 - 観光 振興

方向性

ふるさと 納稅



- ●マイクロツーリズム
- ●子育て世代のファミリー、グループ、カッ プル、女子旅
- ●少人数で高単価、マイカー移動
- ●アウトドア、グランピング、ワーケーション
- ●選択と集中
- ●キラーコンテンツ
- ●新しい生活様式
- ●観光コンテンツを打ち出す仕組み
- ●食のブランド化
- ●観光拠点の確立
- DMO (地域と協同して観光地域づくりを行う法人)
- ●担い手研修
- ●観光案内看板等デザイン



数値目標

●ふるさと寄附金実績

億円 (令和7年)



2 観光入込客数

(令和7年)



Basic strategy

基本戦略

1 ビジネス機会の提供と情報発信

町内事業者にビジネス機会を提供し、地 域経済の活性化を図るため、本町の特産品 及び観光商品等の販路拡大に取り組みます。 さらに、商品開発支援などの事業者のサポートを通して官民連携を図ります。また、ロゴ マークやキャッチコピーの活用、町内外にお ける情報発信の工夫、広域連携のさらなる促 進を実施します。



2 ふるさと納税の拡大

地域経済の活性化及び本町の魅力発信を促進するため、 ふるさと納税の戦略的運用・運営に取り組みます。返礼品の 発掘や種類の拡大、データベース化等による効率化、運営母 体の組織化の検討を通して、ふるさと納税寄附金額を増加さ せるだけでなく、本町のさらなるファンの獲得を目指します。



3 観光振興の戦略的推進と体制づくり



観光旅客船

観光商品の商品開発、販路拡大、町内事業者との連携、DMO等の組織化に努めます。そして、地域経済の活性化、アフターコロナに交流人口・関係人口・定住人口増を図るため、クラウドファンディングの活用を検討します。また、マイクロツーリズムやニューノーマルな視点での観光プログラム造成、博覧会のような町内周遊の仕組みづくり、ハード整備など、本町のさらなる観光振興に取り組みます。





シーウォーカー

更良キャンプ

04

事業者の育成、 販促支援と組織化

地域経済の活性化に向けて、時代や社会潮流、 事業者のニーズに合わせるとともに、国や県、関 連団体の補助金・支援事業などを活用しながら、 町内事業者の育成、販促支援と組織化に取り組 みます。

